

博士のまちだ未来講座



博士



Aさん (25歳)



Bさん (65歳)



Cさん (40歳)

町田市未来づくり研究所が2015年に発表した提言「まちだニューパラダイム 2030年に向けた町田の転換」について、みらいラボの博士が分かりやすく説明します。3人の市民のみなさんと博士の会話をのぞいてみましょう。

さびれゆく未来



きらめく未来



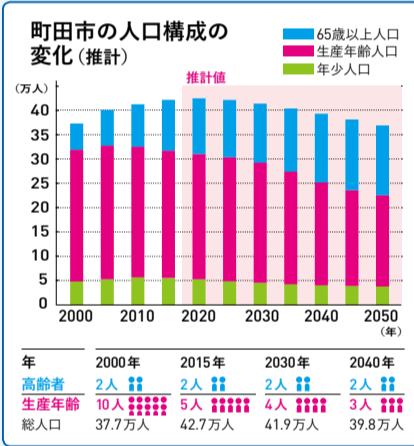
2つの未来シナリオ

2030年のまちだの未来って…?

Aさん えっ、左のイラストの「さびれゆく未来」は本当にくるの？

博士 安心なさい。あくまでも提言の中に示されている町田市の2つの未来予測じゃ。1面のワークショップでもこのイラストをみて、参加者の若者たちはみんな驚いていたぞ。

Bさん 少し大げさな気がするわ。



博士 そうとも言えないのじゃよ。右の表を見てごらん。町田市独自の人口推計では、2020年を境に人口が減少に転じ、現在の約42万8000人から、2040年には約39万8000人となる。人口構成も、高齢者2人を支える現役世代の数は、2000年では10人だったのに対し、2040年には3人で支えることになる。

Cさん 娘たちの世代かあ。そんなに支えるのは大変じゃないか。

博士 高齢化だけじゃないぞ。町田市への転入者が減少したり、強みだった商業も売上額が減り、かげりがみられるんじゃ。提言では、「町田市は、郊外都市として東京圏の成長とともに発展したが、2030年には東京圏の人口も既に減少期に入っている。2030年までにどこまで都市の力を上げておけるかで、人口が減少して新たな挑戦が難しくなる2030年以降の東京圏を含めた日本の行方が決まってくる」とまで言われておるぞ。

都市の力を上げるための「新たな価値観」とは…?

Bさん お先真っ暗！それにしても、2030年だなんて、ずいぶん先ね。

博士 長いようで短いこの期間をいかに充実した時間にできるかが肝なんじゃよ。そのためには、町田市が都市の力を上げていくための行政運営とまちづくりにおける「新しい価値観」が必要なんじゃ。提言のタイトルに「**ニューパラダイム**」(new=新しい、paradigm=考え方の枠組み)と付けたのもそのためじゃ。

Aさん なんか難しそう。



博士 そうじゃのお。では、もう一度イラストをみてもらおう。左のイラストは、都市間競争に敗れ、商業が衰退、住環境も悪化する「さびれゆく未来」、右のイラストは、市内外から人々が集い、町田発の事業やカルチャーが生まれ、住宅地も住民の活力にあふれている「きらめく未来」。みんなはどちらがよいかのう。

Cさん 当然、「きらめく未来」。

博士 わしもそう思う。でもそのためには、人口が増加していた時代の価値観ではなく、人口が減少する時代に求められる「**ニューパラダイム**」、つまり、「**新たな価値観**」が必要となるんじゃ。

Aさん またまた難しそう。価値観？考え方を変えていこうということ？

博士 そうじゃ。価値観というとなんか難しいかのう。2030年の未来が「さびれゆく」か「きらめく」かは、従来の考え方にとらわれず、「**新たな価値観**」でまちづくりに取り組んでいけるかにかかっているんじゃ。提言では、道路や公共施設の整備を中心と

するハードのまちづくりから、人々が交流し、多様な活動を生み出していくことを重視するソフトのまちづくりに考え方を転換することも示されているぞ。

Bさん イメージがわかないわ。

きらめく未来のイメージとは…?

博士 では、未来の具体例をお見せしよう。みんな今の暮らしで悩みはあるかの？

Aさん 私は町田生まれの町田育ちで、ずっとここにいたいけど、最近、同級生で地元に残る人が少なくて残念。街も子どものころに比べたら活気がないような…。

博士 例えば、友人と商店街の空き店舗を借りて会社を立ち上げたり、美術大学のOBを集めてストリートアートイベントを開催したりするのはどうじゃ。町田市から発信する事業や、カルチャーが生まれる交流の場にもなるぞ。

Bさん 私の住む団地では、高齢者が多くなって寂しいわ。

博士 団地は単に住むだけの場所じゃないぞ。例えば資格や経験をいかして、団地を保育室にして、友人と一緒に近所の子育てママのお手伝いをしたら楽しいじゃろ。

Cさん 娘が通う小学校の児童数が減ってしまったり、近所に空き地が増えて治安が悪くなってきたようだ。戸建てを購入して引っ越したのに地元愛が薄れてきてしまって。

博士 例えば、小学校の空き教室を利用して手作りクラフト教室を開いてはどうじゃろ。空き地にできた市民農園で週末に野菜を育ててみてはどうかね。

Aさん いろいろできるのね。なんだか楽しそう。

博士 うむ、うむ。ワークショップでも若者からたくさんアイデアが出ている。みんな未来を考えよう。



町田市ホームページでここで紹介した町田市未来づくり研究所の提言「まちだニューパラダイム 2030年に向けた町田の転換」のPDF版をみる事ができます。博士が話した内容のほかにもアイデアやデータなどが満載です。

町HP 町田ニューパラダイム 検索

今回紹介した「**新しい価値観**」は、「**どうしたら明るい未来になるのだろうか?**」という想いでとどろいたキーワードなんじゃ。本紙の2月15日号では、これからの町田市の未来につながる「**町田市5ヵ年計画 17-21**」(2017年度~2021年度)を紹介するぞ。

